



STARS

校訓 自立・共生

～生徒教師が対話を通して
信頼し合い、ともに笑顔
と活気に満ちた学校～

令和7年(2025)
11月27日(木)
第14号 発行
発行者 校長

自分の人生を切り拓くために～学ぶことの大切さ～

～11月11日 校長講話より～

11月は、県到達度調査、定期テストと自分の学力を客観的に知る行事が多くありました。テスト前も勉強に励む姿が見られましたし、テスト本番も真剣に集中している様子が沢山見られ嬉しく思いました。校長講話で話したテストの点数を取ることも含め、「学ぶこと」の本当の意義、自分の将来を切り拓くために、どれほど大切なことを話しました。中学校の卒業は義務教育の修了です。その後の選択は自己責任です。どんな人生を歩むか、何を大切にしたいかを深く考えるためにも学校の勉強も、それ以外もたくさん「学んで」豊かな人生を切り拓いてほしいと願います。

＜学ぶこととは＞

学ぶこと ≠ 知識の獲得

①自分で考える「武器」を磨くこと：

学力とは

「自分で答えを見つける力」

「物事の本質を見抜く思考力」

→社会で生きるための「武器」

AIが出せないのは「新しい問い」と

「どう生きるかという答え」です。

この武器を磨くのが、まさに勉強です。



学ぶこと ≠ 知識の獲得

②世界がより分かるようになる

歴史を学べば、なぜ今の社会がこうなっているかが見えます。



理科を学べば、スマートフォンがなぜ動くか、世界がどういう法則で動いているかが見えます。
知らないと世界は「ぼんやり」していますが、学ぶことで世界が鮮明で面白くなります。

＜学ぶことがあなたにもたらすもの＞

大切さ1：選択肢を広げる自由

学ぶことを辞めた瞬間、選べる道は狭くなります。逆に、今は退屈に見える教科の知識や、辛い努力の経験が、高校、大学、そして将来の仕事選びにおいて、「選択肢」となって目の前に現れます。



大切さ2：他者を理解する想像力

文学や社会科を学ぶことは、自分とは違う時代、違う環境にいる人の気持ちや文化を知ることです。この想像力こそが、皆さんのが多様な社会で「共生」していくための土台となります。異なる意見を持つ相手を理解しようとする力は、勉強を通じて養われます。



大切さ3：自信と達成感の源泉

難しい問題を解ききったとき、苦手な分野が克服できたときの「やった！」という感覚。これは、自己肯定感の最も健全な源です。

学校行事でも学級活動でも学年行事でも、部活動でも、おかげごとも同じです。努力して成功した経験が、皆さんの「自分はできる」という自信を作ります。



南星中の活動をホームページに掲載中！

部活動や教科の大会・コンクール等で頑張り、活躍している生徒の様子が本校のホームページで見られます。22日は美術部の県スケッチコンテスト、同じ日に英語科の取組で県スペリングコンテストに参加し準決勝に進出、23日野球部が地区大会で準優勝、ハンドボール部が地区大会女子が3位！男子が優勝等も掲載しています。生徒の頑張りをぜひホームページでもご確認ください

<11月28日(金)素晴らしい歌声を！>

地区音楽発表会 場所：豊見城中央公民館

- 1 学級合唱3年6組
- 2 重唱 2名+伴奏者1名
- 3 学校合唱 有志55名



<12月の主な行事>

○3日(水)1学年性教育講演会

○5日(金)南星フェス(13時半～体育館)

○10日(水)2学年性教育講演会

○16日(水)～19日(金)三者面談

○25日(木)終業式※26日～1月5日(月)冬休み